

福島県立図書館

第1節 概要

1 運営の重点

県民の学習センターとして多様な資料の利用に応えるため、各種図書館資料を積極的に収集して、館内において有効適切な奉仕活動を展開するとともに、県内の公立図書館、公民館図書室、各種の機関、団体等に対する資料の貸出を行ない、図書館振興に関する行事を行って、県内図書館の中核としての機能を發揮し、図書館活動の振興と県民文化の発展に寄与するよう努めた。

(1) 資料の整備

利用者ならびに市町村図書館等に対する調査相談業務の強化を図るため、特に歴史・法律部門の蔵書診断を実施し、基本図書、参考図書それに県人の著作物等の収集整備に努めた。

(2) 調査相談業務

社会科学、自然科学、新聞雑誌、特許公報等、分野毎に情報を整備し、県内外の図書館との相互貸借を活発に行なった。

(3) 移動図書館の運用

市町村図書館等と協力体制を密にし、それらに一括貸出しを行って、読書活動の活発化を図った。

(4) 親子読書文庫

子どもの読書力に応じ、情緒発達に資するものを配本し、適切な助言指導を行って、文庫活動も着実に地域に根を下すようになった。

(5) 読書普及活動の推進と職員の研修

17市町村へ20,041冊の一括貸出しを行った。行事としては、図書館大会、各種の研修会を開催して、職員の資質向上を図った。

2 図書館協議会

本年度の委員は次の方々で、4回開催された。

(1) 委員

遠藤 正二	福島県議会議員
小林 忠道	福島商工会議所専務理事
光野タチ子	福島県婦人団体連合会常任理事
高橋 雄亮	NHK福島放送局長 57.8.3辞任
高山 聰	福島県信用保証協会専務理事
武田 守	福島市中央公民館長 57.8.5辞任
下山 政一	福島市立瀬上小学校長
平山 正秋	福島県立福島女子高等学校長
辺見 正治	福島県社会教育委員 57.8.5辞任
堀口 知明	福島大学教育学部教授
今泉 修藏	郡山市中央公民館長 57.8.5就任
鈴木 完一	福島県社会教育委員 57.8.5就任
田中 寛之	NHK福島放送局長 57.8.26就任

(2) 協議会の開催

第1回 昭和57年8月25日

- 昭和57年度県立図書館の運営方針と事業計画について
- 昭和57年度県立図書館予算の概要について
- 新館における電算化システムについて

第2回 昭和57年12月15日

- 館内的一部模様替について
- 新館建設の進捗状況について（現場視察）

第3回、第4回 昭和58年3月9日～10日

- 昭和57年度事業実施状況について
- 昭和58年度事業計画について
- 昭和58年度当初予算概要について
- 館内の模様替について

（会場はいづれも福島県労働福祉会館において）

第2節 整理事務

1 図書館資料の収集

(1) 一般資料の収集

今年度も従来に引き続いて基本図書、参考図書の充実に力をいれた。参考図書の主なものとしては、図書館関係の労作である「図書館年鑑 1982」「図書館用語辞典」「学校図書館事典」や「日本年號大觀」「岩波日中辞典」等がある。全集、資料集の主なものでは「加藤楓邨全集」「辻潤全集」「定本原民喜全集」「戦後日本教育史料集成」「日韓外交史料」等がある。高価な美術書では「日本画素描大觀」「柳宗悦蒐集民藝大鑑」「沖縄文化の遺宝」「茶壺」「桂離宮」等がある。

寄贈図書のなかには、昭和56年の国際障害年を反映して、心身障害者全般にわたる図書を網羅的に収録した「心身障害者関係文献目録 1945-1981」や最も基本的な統計書である「1980年 世界農林業センサス」等がある。その他、寄贈図書として目をひくものは「南極観測25年史」「日本銀行百年史」「三省堂の百年」「早稲田大学百年史」等がある。昭和57年は「教科書問題」が国際的にクロースア・フされたので、従来、小学校の教科書のみを収集していたが、今年度からは中学校、高等学校の教科書も収集はじめた。

受入れ状況は「表1」のとおりである。

〔表1〕資料の受入れ整理状況

区分	購入	寄贈	編入	管理換	計
一般図書	4,831	2,412	199		7,442
	4,589	1,889			6,478
児童図書	1,489	321			1,810
	4,286	1,881			6,167
書館用図書	11,706				11,706
計	18,026	2,733	199		20,958
	8,875	3,770			12,645
合計	26,901	6,503	199		33,603